

とうきょうすくわくプログラム活動報告

令和6年6月
妙福寺保育園 5歳 うめ組

1. 活動のテーマ

葉っぱ遊び

- ・色々な葉があることを知り五感を通して楽しむ。
- ・葉を使い色々な遊びを楽しむ。

<テーマの設定理由>

自然が多くある園庭や境内、林の中で葉を使い活動することが多く見られた。また4月に花の活動を行い葉にも興味を持ち始めた為続けて葉を使った活動へ移行した。花が付いている葉だけではなく園庭や林の沢山の木々の中の葉の違いを五感を通して感じて欲しい、また葉を使った制作へと繋げ子供たちの想像力を高め自由に表現して欲しいと思った。

2. 活動スケジュール

- 5月第1週 水たまりで花や葉を浮かべたり葉に水玉が出来動かししたりすることで形の変化を楽しむ。
花や葉を使った色水遊び。
- 5月第2週 林からお気に入りの葉を持ち帰り葉っぱジャンケンで大きさや長さで遊ぶ。
かつらの葉と水を使い水玉の形を楽しむ。
園庭の葉を保育室に貼りどの木の葉なのかを当てるクイズをする。
- 5月第3週 押し葉作り。
集めた葉で感触の違いや色の違いを色画用紙に分けて貼る。
- 5月第4週 2グループに分かれ葉っぱの背比べをする。
葉を集め感触や色の違いを画用紙に貼り違いを楽しむ。
ばけばけはっぱ作り。
- 6月第1週 葉っぱドンジャンケンを楽しむ。
フキを取りに行き葉の感触や大きさを楽しむ。
かつら葉と水を使い水玉の形を楽しむ。
色画用紙を用意し色に合う葉や花を探すゲームをする。
- 6月第2週 葉を使いフロッタージュを楽しむ。
雨どいや竹筒を使い葉っぱ流しを楽しむ。
- 6月第3週 境内で葉っぱ探し。図鑑を使い観察を楽しむ。
- 6月第4週 押し葉作り。
かつらの葉を使い水玉遊び。
色画用紙に感触や色違いを貼り楽しむ。
ばけばけはっぱ作り。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子ども達と葉を拾い押し葉作り。いつでも遊ぶことが出来るよう図鑑、スポット、トンカチ、すりこぎ、すり鉢 用紙、両面テープ、画用紙、障子紙、机などを用意し環境を設定していった。またスケジュールに合わせ葉っぱ流し用に竹筒や雨どい、タライを用意し環境を設定した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・かつらの葉と水

水たまりが出来た時に花びらや葉が浮いているのを見て遊び始めた。かつら以外の葉が浮かぶのか試し、水が乗ると水玉が出来ることに気が付き葉を動かして形の変化を楽しんでいた。



押し葉にしたかつらの葉にスポットで水を乗せ形の変化を楽しんだり虫メガネで観察したりしていた。水を通して見た葉が「きれいにみえる」と言い他児と共有していた。水玉をそっと持ち上げると伸びることや栗の花を乗せても水玉がつぶれない事に気が付く姿が見られた。



・葉っぱの背比べ

2グループに分かれ葉っぱの背比べをした。どのように貼ったら長くなるのかを話し合いながら向きを変えたり葉を選んだりする姿が見られた。一人の子から「お友達と先生とでしたらどっちが長いかな？」という提案があった為子どもと保育士と一緒に2グループに分かれ行った。面白いことに気が付き提案することが出来楽しい遊びに繋がった。



・葉っぱの感触・色合わせ

葉の感触や色の違いに気付き画用紙に分けて貼った。表と裏の違いに気付き同じ葉っぱでも違う画用紙に貼る子もいた。

・葉っぱ流し

雨どいや竹筒を使い葉っぱを流して遊んだ。水の量や勢い、雨どいの向きなど友達と考え協力しながら楽しむ姿が見られた。タライも用意しかつらの葉を沈めてみるとキラキラ光ることに気が付いたり浮かんでくることが分かり枝とほかの葉を使い船を作ったりし遊びを広げていった。葉の裏表で光り方が違うことに気が付いた。



・ばけばけはっぱ作り

ばけばけはっぱの絵本を読み押し葉を使い好きなように制作した。葉だけでなく枝や石を使い表現する子もいた。何度か行っているうちに物語を作る子もいた。



<活動中の子供の姿・声・子供同士や保育者との関り>

活動の中で友達が気付いた事や行っている事を伝え合いイメージを共有して遊びが広がっていった。葉を集めていく中で取ったばかりのみずみずしさ、枯れていく姿や押し葉をした後の感触の違いに気付き「水を吸ってるから茎から水が出てくるんだね」と話す姿が見られ水の大切さを感じていた。フロタージュをした時は葉脈が出てくると「ここで水が通っているんだよ」友達と共感していた。子ども達から保育者に感じたことや不思議に思ったことを話し保育者は一緒に観察し考えていくようにした。気付いた事ややってみようと思った事をいつでも出来るよう環境設定を行った。

5.振り返り

<振り返りにより得た保育者の気付き>

遊びの中で出来た偶然や発見を逃さず驚き、喜び、共感し遊びを広げていく姿の中、一つの題材から思考力、言葉による伝えあい、生命の大切さ、協力をし話し合う姿が見られたのは大きな成長を感じた。何より子ども達の気付き、興味、観察力、探求心の力に驚いた。作った作品や葉の感触の違い、色の違いを画用紙に貼り目に見えるようにすることで興味を持ち行う姿が多かった。見える化することにより遊びを子ども達自身が広げていく事が出来ると感じた。